

上マージン (1 ページ目 : 30 mm, 2 ページ目 : 25 mm)

研究ノートの完全版下原稿 (邦文) の作成例 Ver. 4 ← 16 pt

Print Sample of Technical Papers in Japanese ← 12 pt Bold

学会太郎* 論文 花** IRRIGATION Jan*** ← 12 pt

* 農土大学農学部, 〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-4

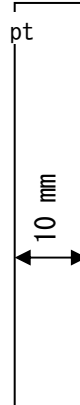
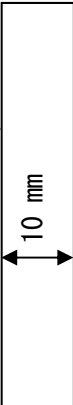
** 農土開発株式会社, 〒812-0053 福岡市東区箱崎 6-11-2

*** Department of Geography, University of Arizona, Tucson, Arizona 85721, U.S.A.

Correspondence : 学会太郎, e-mail : gakkaitaro@jsidre.or.jp

キーワード : 明朝体 8 pt, 5~7 語, 2 行以内, キーワードが 1 行を超えたらインデントして折り返す
↑ 8 pt ゴシック

左マージン 20 mm



約 6 mm

約 6 mm

約 3 mm

約 6 mm

約 10 mm

1. はじめに ← 10 pt ゴシック

約 6 mm

9 pt

この原稿は、農業農村工学会論文集研究ノートの完全版下原稿 (邦文) の作成例です。この作成例を参考にして、題目や文章、図表などをレイアウトしてください。なお、ここでは、完全版下原稿を作成するのに必要な事項のうち、主な項目についてのみ記述していますので、詳細については「農業農村工学会論文集の完全版下原稿 (邦文) の作成例 Ver. 5」を参照してください。

約 6 mm

2. 全体のレイアウト ← 10 pt ゴシック

約 6 mm

研究ノートは、2~4 ページとし、超過は認められません。したがって、表題部分の行間隔などが「農業農村工学会論文集の完全版下原稿 (邦文) の作成例 Ver. 5」とは多少異なりますので、ご注意ください。

・ 題目部分 : 本作成例を参照ください。

約 6 mm

2.1 1 ページ目 ← 9 pt ゴシック

1 ページ目は、題目部分と本文から構成されます。マージンは、上 30 mm, 下 20 mm, 左右 20 mm で、題目部分の左右マージンは 30 mm としてください。

2.1.1 題目部分 ← 9 pt ゴシック

題目部分は、横 1 段組で邦文題目、英文題目、著者名、所属機関名 (同住所)、キーワードを記述します。

邦文原稿では、邦文表題の下に英文表題 (主題のみ) を置いてください。邦文表題と英文表題の間隔 (邦文の副題があるときは、副題との間隔) は約 6 mm とします。

英文原稿の場合、邦文表題は不要です。フォントなどについては、「完全版下原稿 (英文) の作成例 Ver. 5 (Print Sample of English Manuscripts for IDRE Journal Ver. 5)」を参考にレイアウトしてください。

2.1.2 本文 ← 9 pt ゴシック

本文と題目部分のキーワードとの間に約 10 mm の行間ス

ペースを設けてください。本文は 2 段組で、段間隔は約 6 mm, 1 段 1 行が全角で約 25 文字程度, 1 ページ約 50 行となるよう調整してください。本文のフォントは、漢字・仮名は明朝体の全角 9 pt, 英字・数字は Times などの代表的な Roman 体の 9 pt を用いてください。

2.2 2 ページ目 ← 9 pt ゴシック

2 ページ目のマージンは、上 25 mm, 下 20 mm, 左右 20 mm としてください。謝辞、付録、引用文献などの書き方については、「農業農村工学会論文集の完全版下原稿 (邦文) の作成例 Ver. 5」を参照してください。

3. ヘッダおよびフッタ ← 10 pt ゴシック

両ページともヘッダ・フッタは事務局で入れます。

4. その他のレイアウト ← 10 pt ゴシック

数式、図表や引用文献など、その他のレイアウトについては、「農業農村工学会論文集の完全版下原稿 (邦文) の作成例 Ver. 5」を参照してください。

約 6 mm

付録 引用文献等の行間について ← 8 pt ゴシック ↓ 8 pt

謝辞、付録、引用文献リスト部分の行間は、本文よりやや小さくしてもよいこととします。

約 6 mm

↓ 8 pt 引用文献 ← 9 pt ゴシック

Fast, J.D., Zong, S. and Whiteman, C.D. (1996) : Boundary layer evolution within a canyonland basin. Part II : Numerical simulations of nocturnal flows and heat budgets, *J. Appl. Meteor.*, **35**(12), 2162-2178.
藤原鉄朗, 齋藤 豊, 森 丈久, 森 充広, 渡嘉敷 勝 (2009) : 通水状態での農業用水路トンネル点検手法の開発, *農業農村工学会誌*, **77**(4), 25-28.

右マージン 20 mm

下マージン 20 mm